

## 第7章 モニタリングと見直し

### 1. 『宮代町水道ビジョン2024』の進捗管理

本ビジョンは、事業を推進していく過程において、実効性を向上させるため、PDCAサイクルを導入し、進捗状況をモニタリングするとともに定期的に見直します。

進捗管理は、図 7-1 に示すとおり、計画の策定（Plan）、事業の推進（Do）、達成状況の確認（Check）、改善・検討（Action）を繰り返す、PDCAサイクルにより行います。このような一連のPDCAサイクルをくりかえし続けていくことで、本計画はより良い形となり、目標達成率の向上に繋がります。

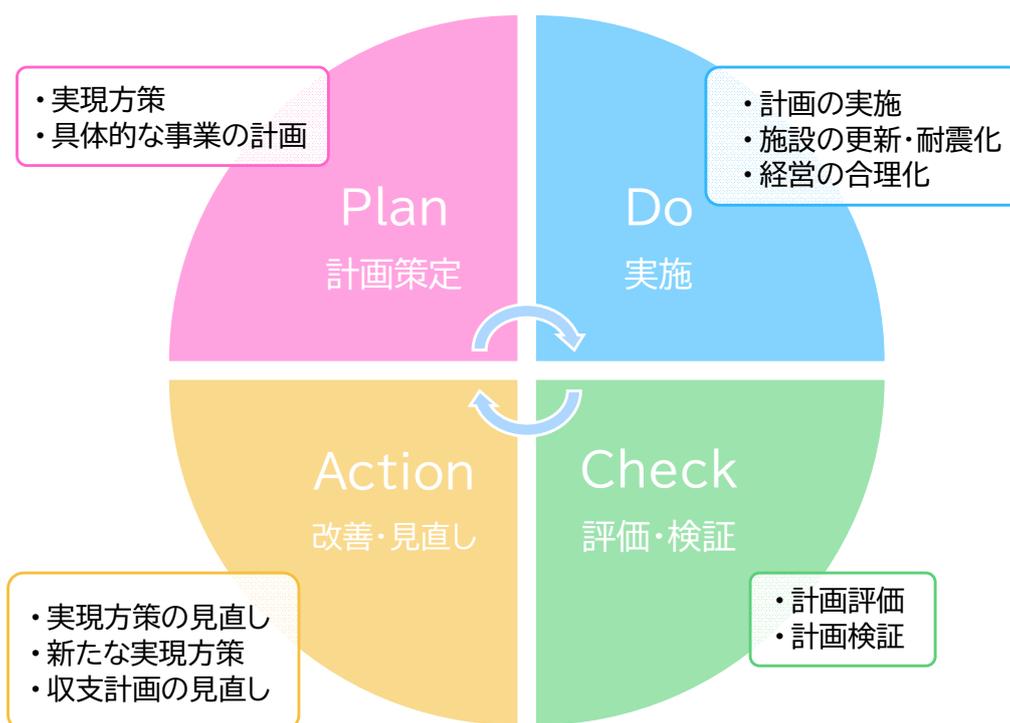


図 7-1 PDCAサイクルを導入した進捗管理

#### 1.1. 進捗状況のモニタリング

進捗状況や目標達成状況は業務指標や経営比較分析表を活用して毎年度モニタリングします。また、投資・財政計画と実績の乖離を検証します。

#### 1.2. 定期的な見直し

本ビジョンは、中間年の5年後に見直しをおこないます。定期的な見直しにより、未達成目標への対応や新たなニーズを把握することで、より実効性の高い計画となります。

このとき、将来予測方法や収支ギャップの解消に向けた取組等についても検証し、必要に応じて計画の見直しを図ります。また、財源確保に係る取組が具体化した場合等においては、その内容を「経営戦略」に追加し、投資・財政計画に反映させます。